

岩手県立大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップ I (1単位)
- 実習先企業等：大船渡市市民活動支援センター
- 実習場所：岩手県大船渡市
- 参加対象者：ソフトウェア情報学部2年生
- 実習期間：2014/09/01～2014/09/05
- 実習日数：5日

<取組の概要>

・2年次「インターンシップ I」にて1単位付与 専門にとらわれない分野を推奨

<取組の具体的な内容>

事例：専門分野(ソフトウェア情報)の枠を超え、復興地での市民活動支援業務を通じて、自分に出来る事を探す事、視野を広げる事を目標としインターンシップに参加。また、受入先プログラムにより、アウトプットとして事業所課題整理が課せられた。(2年 インターンシップ I)

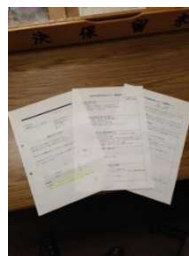
担当業務(プログラム)

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
午前		<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信業務 (Facebook, Twitter) ・アンケート集計 ・公民館訪問ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体情報データ整理 ・運営会議議事録録り 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信業務(ブログ、Facebook, Twitter)※1 ・仮設住宅の訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議議事録精査
午後	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・PC設定 ・市役所への挨拶 ・データ収集方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計 ・団体情報データ整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営会議議事録精査 ・会議の手伝い、見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信業務 (Facebook, Twitter) ・公民館長のヒアリング ・団体情報リストの整理 ・会議議事録録り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログ更新 ・事業所課題整理(※2) ・最終資料発表作成

成果物(output)



※1 ブログにて情報発信



※2 事業所課題の整理

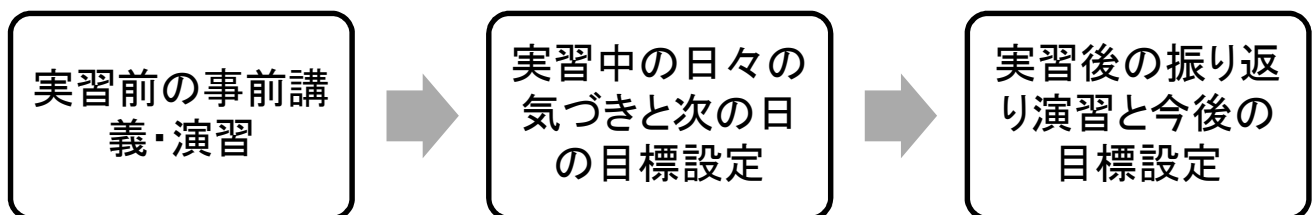
上記業務を通して、指示を待つのではなく、自身で出来ることを探しに行く姿勢が必要であることに気づき、自身の意思に従い積極的発言・行動すべきであるという考え方に変化。今回の成長を踏まえ、3年次での「専門性を生かす分野インターンシップ(ソフトウェア)」に取り組むことなどで、相乗的な学習効果が期待できる。

桜の聖母短期大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名：インターンシップA(1単位)
- 実習先企業等：株式会社 くつろぎ宿 新滝
- 実習場所：会津若松市
- 参加対象者：キャリア教養学科 1年生
- 実習期間：2014/08/14～2014/8/21
- 実習日数：8日

<取組の概要>

・郡山商工会議所紹介企業、福島県中小企業団体中央会紹介企業、および本学開拓企業から、学生が希望する企業へ参加申込書(自己PR・志望理由等欄のある履歴書に近い書式)を提出し、企業側が受け入れを受諾してスタートするので、単なるマッチングではない。
・インターンシップ実施前に、講義と演習を6コマ程度行い、かつ「キャリア形成演習Ⅰ」で事前演習を行い、実習先企業を学生各自が決めている。
・最小実習日数は5日間としているが、本事例では、実習先企業が提供する寮へ宿泊し、8日間実施した。



<取組の具体的な内容>

旅館業務を行いながら、短期大学1年前期で学んだビジネスマナーや対応能力を、実務を通して振り返り、学生自身の強み・弱みを知る。

【8日間で行った業務】

- ・チェックイン後のお客様対応。
- ・夕食時の配膳、下膳業務、朝食会場でのお客様対応、配膳・下膳、
- ・チェックアウト後のお見送り
- ・客室系の補助業務、フロント業務等を含んだ旅館業務全般

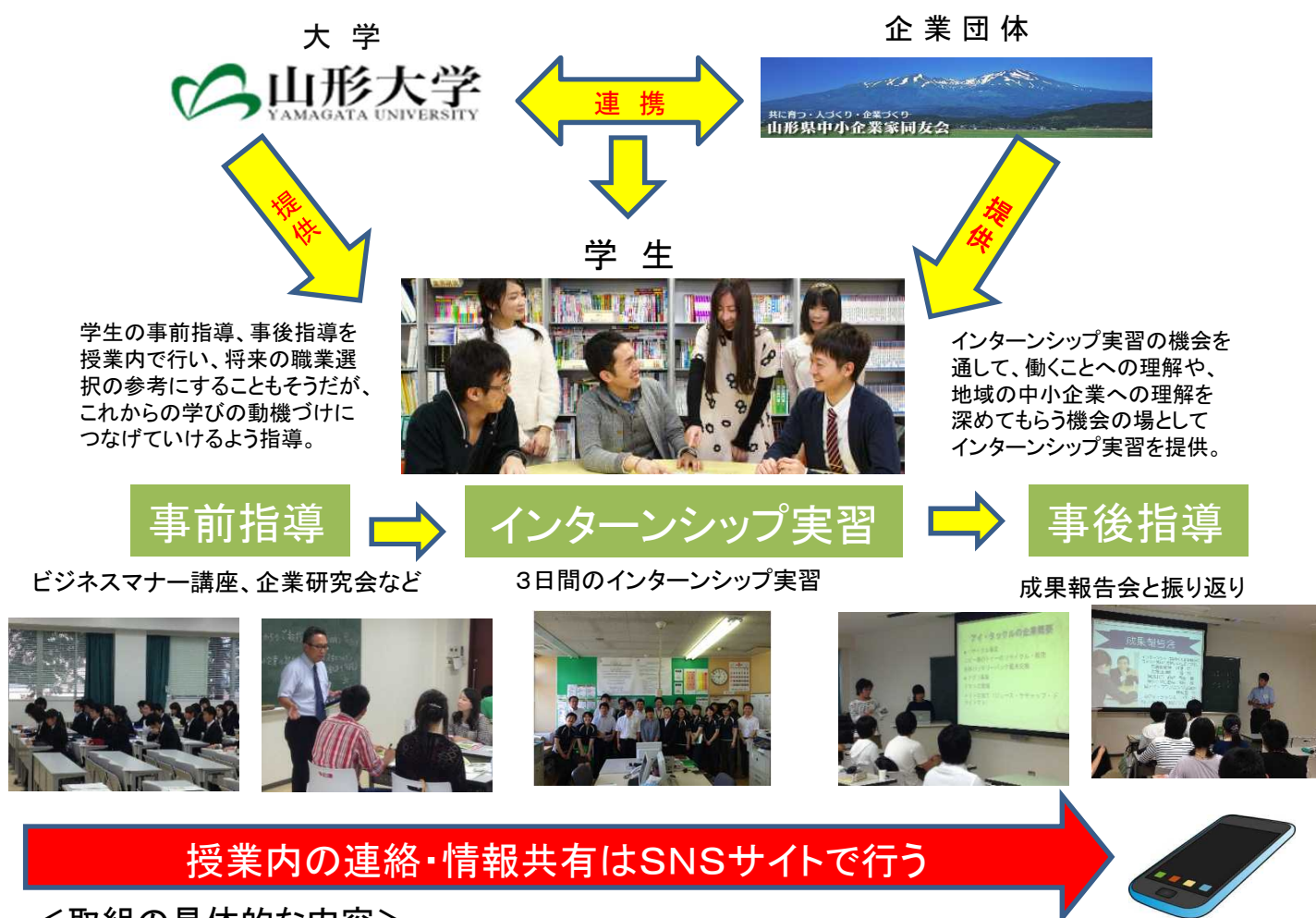
社会経験の乏しい、短期大学1年生が、実際の業務に関わることで、実社会での人間関係を体験し、自分の経験とできたことが大きな収穫である。さらに目的意識を明確に持つことの重要性を認識し、1年後期からの授業への取組態度の変化も期待できる。

山形大学におけるインターンシップの事例

- 授業科目名: 低学年インターンシップ(2単位)
- 実習先企業等: 山形県中小企業家同友会加盟企業(13事業所)
- 実習場所: 山形県内(主に村山地域)
- 参加対象者: 1年生(全学部全学科) 20名
- 実習期間: 8月1日~7日
- 実習日数: 3日

<取組の概要>

低学年から広い視野で進路を考えられる機会として、講義と合わせて地域で活躍している中小企業へのインターンシップに参加する。



<取組の具体的な内容>

(3日間の主な実習内容について)

- ① セミナー型: 社長から直接、業務内容や働く上での心構え、中小企業ならではの魅力についてのレクチャー(主に実習初日に実施)
 - ② 見学型: 社内や工場などの作業現場の見学(主に実習初日に実施)
 - ③ 現場実践型: かばん持ちとして、経営者、営業社員等の営業先への同行。
- または、事務作業(簡単な入力業務や伝票整理等)、接客(お客様への販売業務等)、工場等の作業補助業務(工場内の整理作業等)の体験。
- ※ただし、①~③単独ではなく、組み合わせにて実施。